

平成15年度 地域国際化フォーラム
のぞいてみよう! 国際協力の世界

エジプト、バングラデシュ、ルーマニアってどんな国?
 「国際協力」に関わるにはどうすればいいの?

青年海外協力隊に参加し、活動されていた松前町出身の方をお招きしています。現地での体験談や「国際協力」についてお話を聞いてみませんか?

日時 11月18日(火) 19時~21時
場所 伊予郡松前町筒井633 松前総合文化センター2階 ふれあい展示室

参加費 無料
定員 30名(先着順)
内容

1. ワークショップでアイスブレイク!
 講師 濱田淳司さん
 (バングラデシュ・野菜)
2. 「協力隊の経験を通して」
 講師 大川理恵さん(エジプト・美術)
 前田房美さん(エジプト・保育士)
 郷田雅美さん
 (ルーマニア・日本語教師)

問い合わせ・申込み

電話・FAX・Eメールで次までお申し込みください。その際に、名前と連絡先をお知らせください。
 ※定員になり次第締め切ります。

(財)愛媛県国際交流協会
 ☎917-5678 FAX917-5670
 Eメール nishiyama@epic.or.jp



私はエジプトに行き、彼女たちのようなイスラム教徒と生活するまで、イスラム教に対して、いわゆる過激派と呼ばれる人たちのニュースばかり耳にする中で、漠然と「怖い」というイメージをもって

いましたが、それは偏見であつたと反省せずにはいられませんでした。そしてまた、コランに書かれてあるからという以前に、暗黙の了解のこととして行われている数々の教え。日本人が忘れてしまった大切なことも、ここ「イスラム」には生き続けている気がします。少なくとも私の周りのイスラム教徒たちは心洗われるような素敵な人たちばかりでした。

日本にいと、とかく「宗教」とは縁遠い存在で日ごろ意識しない事柄ではありますが、エジプトに行きイスラム教徒たちとともに生活し、その教えや思いを知るにつれ、改めて宗教の持つ意味を考えることが増えました。世界に

はまださまざまな信仰が存在します。一緒に生活してみなければわからないこともたくさんありますが、自分のものさしだけではかることなく、世界中の仲間たちが理解しあえるようになれば素敵だと思えます。

「イスラム教のことを少しでも多くの人に知って欲しい。その宗教がいいとか悪いとかじゃない、それ以前の問題でいろいろな人にもっとイスラム教のことを知って欲しい。」と日々熱く語っていたアマルの思いとともに。今日はこのへんで。

今後も、派遣国エジプトの様子をレポートしていただきます。お楽しみに。

第55回人権週間

平成15年度啓発活動重点目標

「育てよう」

一人一人の 人権意識
 ～身近なことから人権を
 考えてみませんか?～

人権週間は、国民一人ひとりが「人権」というものを再認識するとともに、自己の行為によって他人の人権を侵していないか反省する週間でもあります。

私たちが豊かな日常生活を営むためには、お互いの立場を尊重し、自己の権利ばかりを主張することのないような心がけなければなりません。

法務省及び全国人権擁護委員連合会では、12月4日(木)から10日(水)の1週間を人権週間として、次の事項を強調事項として各種の行事を実施します。

- 女性の地位を高めよう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切にすることを育てよう
- 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理

解を深めよう
 ○外国人の人権を尊重しよう

○HIV感染者やハンセン病患者などに対する偏見をなくそう

○刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう

○犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう

○インターネットを悪用した人権侵害は止めよう

○性的指向を理由とする差別をなくそう

なお、人権問題でお困りの方は、お近くの人権擁護委員か法務局へご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

松山地方法務局

☎932-0888

人権擁護委員

高石 勤(神 崎)

☎984-5992

住田フミノ(南黒田)

☎984-3578

吉村 光世(上高柳)

☎984-4200

水口 憲三(出 作)

☎984-2692